

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	シナ＝チベット諸語の歴史的展開と言語類型地理論
研究代表者	池田 巧 (京都大学・人文科学研究所・教授) ※平成30年7月末現在
研究期間	平成30年度～平成34年度
コメント	<p>本研究は、シナ＝チベット諸語の豊富な言語資料をもとに、類型構造の漸次的推移に反映された歴史的変化の諸相を解明することを目的とするものである。日本発の言語類型地理論を発展的に継承・展開することにより、印欧語族をベースに構築された比較・歴史言語学の方法論を補強・変革することを目指す意欲的な研究であり、世界的に大きなインパクトが期待できる。</p> <p>応募者はこれまでにチベット・ビルマ系言語の研究で国際的にも注目される研究成果を上げており、本研究に参画する研究者らも現地調査や文献調査に関する豊富な経験を有するなど、本研究を着実に遂行しうる体制が整っていることから、十分な研究成果が期待できる。</p>